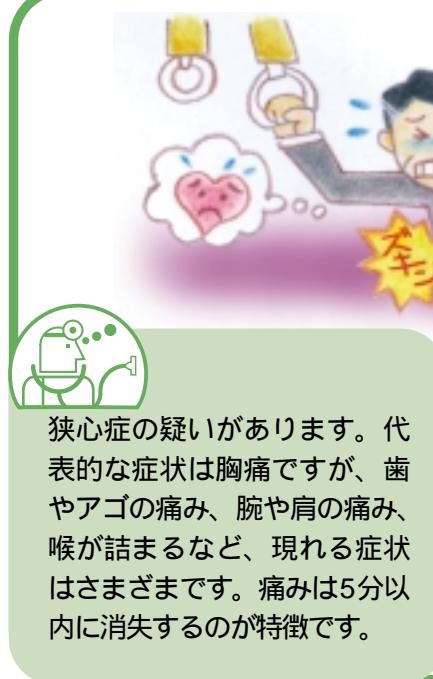


ハートニュース

虚血性心疾患の早期発見のポイント



狭心症の疑いがあります。代表的な症状は胸痛ですが、歯やアゴの痛み、腕や肩の痛み、喉が詰まるなど、現れる症状はさまざまです。痛みは5分以内に消失するのが特徴です。



主婦業二十数年のCさんは、更年期の頃から太りはじめ、三年前の成人病検診で軽い糖尿病と診断された。グルメのCさんは運動や食事に気をつけたが、だんだんもどに戻ってしまっている。最近、駅の長い階段を昇つていると、息切れがして、途中で一息入れないと上まで行けなくなってしまった。

駅の階段を昇るとともに
息切れしてしまつ

(六〇歲、主婦)



心臓の働きが弱った状態になると少しの運動でも息切れします。この人の場合は肥満が原因かもしれません。しかし、息切れは虚血性心疾患による心機能低下の一つです。精密検査を受けておくとよいでしょう。

日本心臓財団より

日本心臓財団は、わが国三大死因のうちの心臓病と脳卒中の制圧を目指して、一九七〇年に発足いたしました。

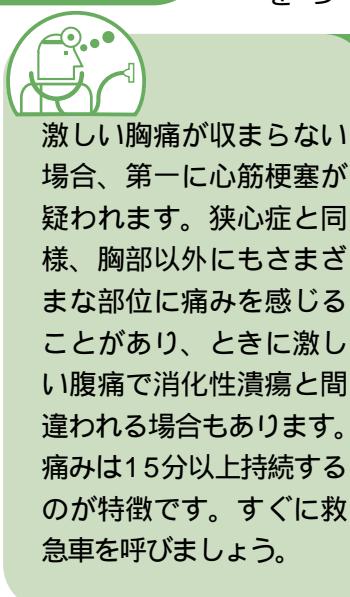
当財団は、研究に対する助成や予防啓発、また世界心臓連合加盟団体としての諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めています。当財団は皆様のご寄付により運営されています。どうぞ皆様のご協力をお願い申しあげます。

不安感など違和感を感じたら、専門の医師に診てもらおうようにしましょう。

虚血性心疾患の危険因子には、高血圧、高脂血症、喫煙、糖尿病、肥満などがあります。自覚症状のないこれららの状態が重なると虚

め、四十歳をすぎたら一年に一回定期検診を受けることが大切です。また運動や食生活にも気をくばりましょ。とくに親、兄弟に狭心症や心筋梗塞患者がいる方は、早いうちから予防を心がけてください。

四十歳を過ぎたら 欠かせない定期検診



An illustration of a man with a thoughtful expression, looking upwards. He has blue speech bubbles around him containing the Japanese characters '声' (voice) and 'ボゴ' (Bog). Above his head is a thought bubble containing a yellow door labeled 'WC'.



風邪でもないのに咳ができる、声がかずれる、夜間の尿量が増すというは、心不全の初期症状にときどきみられます。心不全は心臓のポンプ機能の衰えにより起こるもので、息切れ、疲れやすい、むくみが主症状です。虚血性心疾患が原因であることがしばしばです。

突然 激烈な胸の痛みが 長く続いた

(五十八歲 學校教師)

風邪でもないのに咳や
声がかされる
(七十五歳、年

(七十五歳年金生活者)

Dさんは会社を定年退職する前に狭心症を患つた経験がある。五〇歳代から高血圧があったが、降圧薬は飲んだり飲まなかつたりしていた。

咳や声がかされたことがあり、夜は枕を高くして寝ないと寝つけず、夜中は何回もトイレに立ち、疲れやすいため外出はせず、家にいることが多い。

、声がかすれる、夜間にときどきみられます。このもので、息切れ、痰疾患が原因であることが